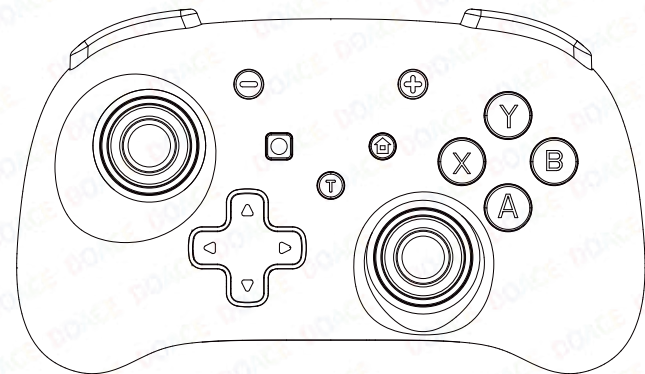
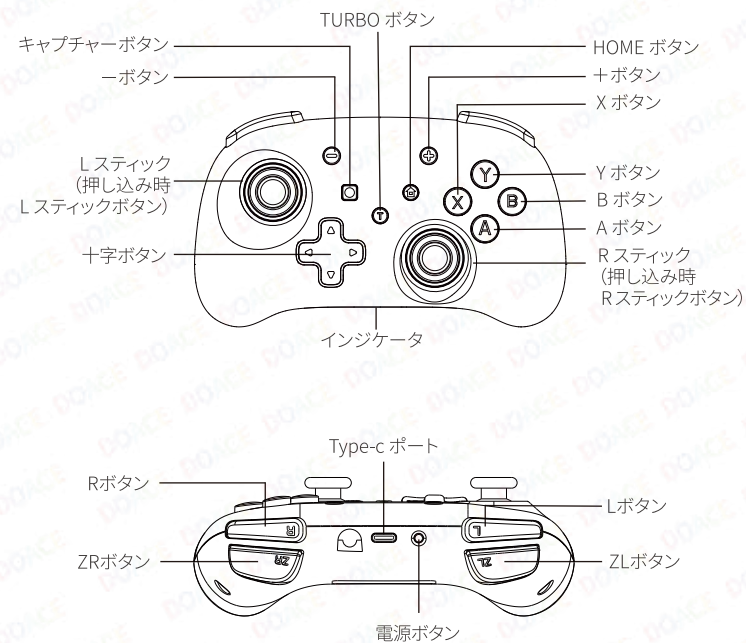


取扱説明書

DOACE-Q1



各部の名称



このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、本品を安全にご使用ください

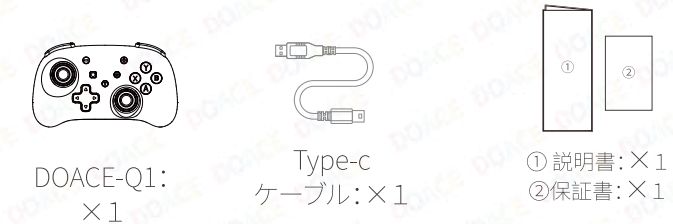
製品に関するお問い合わせはこちら

seller-jp@doace.com

【受付時間】

9時30分～12時30分、14時30分～18時30分
(土日祝、その他弊社休業日除く)

本品の内容



対応機種

Nintendo Switch Lite Nintendo Switch 本体 Android
macOS PC (興味のある方は使ってみてください)

接続方法(ペアリング) ※本品はBluetooth接続と有線接続の両方に対応している。

1. Bluetooth接続

・Switch 本体HOMEメニューの「コントローラー」→「持ちかた/順番を変える」を選択します。



コントローラー

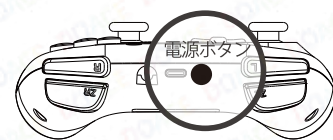


持ち方/順番を変えるを選択

・本品の電源ボタンを1秒ほど押すことで接続待ち状態にさせることができます。接続待ち状態になると、コントローラーのLEDが1～4まで往復点滅し始めます。
・本品のLED1が常に点灯に切り替わったらペアリングが完了します。



インジケータ



電源ボタン

※本品を一度 Nintendo Switch にペアリングした場合、再度ペアリングの必要はありません。

※Switch 本体と本品がスリープに入った時、ホームボタンを短押しすれば、Switch本体とDOACEプロコンを再起動できます。

2. 有線接続

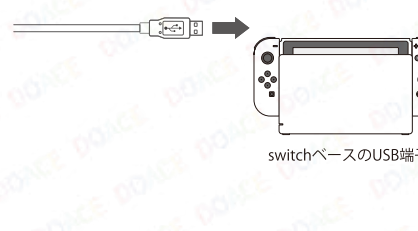
※HOMEメニューの「設定」→「コントローラーとセンサー」→「Proコントローラーの有線通信」を「ON」にしてください。

(1) 本品とSwitch本体をケーブルでつないでいる間、有線で通信するように設定できます。

- ・本品は電源OFFにしてください。
- ・ケーブルは両端ともにType Cのものでなくてはならない。(ケーブルは「USB-TypeCタイプ」である場合は変換用のアダプタを別途購入しなければならない。)
- ・本品とSwitch本体を「ケーブル」でつなぐだけでOK。
- ・ケーブルでつなぐとすぐにswitch本体の左上に「登録しました」の表示が出る。



(1)



(2)

(2) 本品とNintendo SwitchドックをUSB充電ケーブルでつないでいる間、有線で通信するように設定できます。

- ・本品は電源OFFにしてください。
- ・USB-TypeCタイプケーブルでSwitchドックをつなぐだけでOK。
- ・ケーブルでつなぐとすぐにswitch本体の左上に「登録しました」の表示が出る。

3. Androidを搭載した設備との接続方法

コントローラーがオフの状態、「X+HOME」ボタンを2秒押しして、Gamepadモードになり、LED4が点滅しています。この時、Androidを搭載したスマートフォンなどの設備はこのコントローラーを検索でき(ID:Gamepad)、Bluetoothでペアリングできます。ペアリングに成功したら、LED4は常に点灯しています。今度は「ホーム」ボタンを押すと自動的に接続できます。(接続できない場合は、最初の操作からもう一度試してください。)

4. macOSを搭載した設備との接続方法 (本品はiOS13以上のバージョンに適用です。)

コントローラーがオフの状態、「B+HOME」ボタンを2秒押しして、接続待ち状態になり、LED3が点滅しています。この時、macOSを搭載したスマートフォンなどの設備はこのコントローラーを検索でき(ID:XBOX Wireless controller)、Bluetoothでペアリングできます。ペアリングに成功したら、LED3は常に点灯しています。今度は「ホーム」ボタンを押すと自動的に接続できます。(接続できない場合は、最初の操作からもう一度試してください。)

5. PCとの接続方法

PCとはケーブルだけで接続できます。ケーブルでパソコンとコントローラー接続すると、自動的にパソコンにドライバーをインストールします。(しばらくお待ちください。この過程ではLED4は常に点灯しています。)インストール完了すると、LED1と4は常に点灯しています。(時々点滅になります、これは充電中です。コントローラーは普通に使えるので、ご安心ください。)こうなると接続完了しました。

一般的に初期値は「Xinput」モードであり、「+」、「-」と同時に3秒間ほど押しすると「Dinput」モードになります。「Dinput」モードに切り替えると、LED2と3は常に点灯しています。「+」、「-」を同時に長押しすることで以上三つのモードを繰り返します。(接続モードはお客様のPCに搭載したシステムご次第です。接続できない場合は、モードチェンジャーを試してください。)

TURBO連射機能


「A」、「B」、「X」、「Y」、「L」、「ZL」、「R」、「ZR」ボタンには、連射設定ができます。便利な連射機能は、秒間約8・15・20回の3段階で切り替えられます。「連射機能」とは、特定のボタンを押しっぱなしにすることで自動的に連射するように設定される機能のことです。本品は「手動連射モード」と「自動連射モード」二種類の連射機能を搭載されます。

「ZR」例としての設定方法


連射機能	Ⓣ + 「ZR」ボタン	1回目設定すると、「手動連射モード」になります。「ZR」ボタンを押しっぱなしにすることで自動的に連射できます。
連射ホールド機能	Ⓣ + 「ZR」ボタン	2回目設定すると、「自動連射モード」になります。「ZR」ボタンを押さなくても自動的に連射できます。
連射をクリア	Ⓣ + 「ZR」ボタン	3回目設定すると、「ZR」ボタンの連射をクリアします。
すべての連射クリア	Ⓣ ボタン	「T」ボタンを5秒間ほど長押しすることで、全ての設定された連射をクリアします。

連射段階の設定方法:

Ⓣ + ⊕、Ⓣ + ⊖ で段階を調整できます。

 **ご注意:**「T」ボタンを5秒間ほど長押しすることで、全ての設定された連射をクリアします。

振動機能の設定方法:

強度をあげる	強
Ⓣ + 	中
強度を落とす	弱
	OFF

スティックのLED色調整機能:

T+スティック (Lスティック或いはRスティック)
Tボタンを押しながら、スティックを短押しでLEDの7色の発光を変更できます。
Tボタンを押しながら、スティックを長押しでLEDの明るさを調整できます。(四段階の明るさが往復に変化になり、長押ししているスティックを放すことで明るさの段階を選定します。)
Tボタンを押しながら、スティックを2回に短押しで:
1回目設定すると、LEDは点滅になります。
2回目設定すると、LEDはマルチカラーになります。
3回目設定すると、LEDは消灯になります。

コントローラーが反応しない、または勝手に反応する場合

ボタンを押してもコントローラーが反応しない場合、充電が足りていない可能性があります。充電を行ってください。
充電できない、充電が完了してもコントローラーが反応しない、または勝手に反応する場合は針金とかクリップとかをコントローラー背面のリセットボタン(穴)に差し込んでカチッと音がすると、コントローラーをリセットされます。再度接続してください。(リセットボタン:背面の小さい穴)
それでもコントローラーが反応しない場合は弊社にお問い合わせください。

充電表示 (5V~1A)、(5V~2A)のACアダプターを おすすめ。充電時間:2~3時間

・電量表示

Tボタンを押しながら、十字ボタンの右或いは左を押すことで、剰余電量を表示させます。(4つのLEDが点灯するのは満電です。残り電量は25%、50%、75%、100%大体において表示できます。)

・低電力


電力不足の時、指示灯が点滅します。接続設備によって、点滅するLEDが違います(例えば、接続設備はSwitchの時、LED1が点滅している。これによって類推する)。

・充電中

充電中はLED4が点滅しています。

・電力フルー

充電完了したら、LED4が常に点灯になります。

 **ご注意:**充電しながら使用すれば、LEDが点滅し続けますかもしれません。原因は使用し続けて、満電状態になれないのです。これは正常な現象で、ご安心ください。


スリープ機能

・自動スリープ

接続した設備がoff或いはスリープになったら、コントローラーはスリープモードに入ります。接続が切ります。
5分間に操作なしと移動なしなら、コントローラーはスリープモードに入ります。接続が切ります。

・手動スリープにさせる

Bluetooth接続状態で、「HOME」ボタンを3秒ほど長押しすることで接続を切り、コントローラーをスリープにさせます。

 **ご注意:**「スリープ機能」や「スリープ解除機能」二つとも「HOME」ボタンで実現できます。

仕様

- ・サイズ/143.14*82.97*52.08mm
- ・重量/約152g
- ・接続規格/ USB Type-C
- ・機能/加速度センサー
- ・バッテリー駆動時間/約20時間
- ・ジャイロセンサー、振動、連射、Switchのスリープ状態を解除できる機能、
- ・バッテリー容量:600mAh

使用上のご注意

※保護者の方へ、必ずお読みください

- 小さな部品がありますので3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 本品を湿気やホコリの多いところに置かないでください。
- 本品に物を当てたり、落下させるような強い衝撃を与えないでください。

- 分解や修理、改造は絶対にしないでください。
- お手入れの際には、柔らかい布を使用してください。また、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。本来の目的以外に使用した場合の事故や損害に対し、弊社は一切その責任を負いません。

バッテリーに関するご注意

本品に内蔵しているリチウムイオンバッテリーは、安全面を考慮し設計・製造されており、安心してお使いいただけます。ただし、本品を分解し内蔵バッテリーを傷つけたり、過度に強い衝撃を与えると、内蔵バッテリーの電極がショートする事で、急激な発熱を伴う、発煙、発火、破裂が発生する可能性があり、大変危険です。

- 使用および保管場所に関して、次のことにご注意ください。内蔵バッテリーが発熱、破裂し、火災や感電、けが、機器の変形や故障の原因になります。

- ①火の中に入れたり、電子レンジや高圧容器に入れたり、ドライヤーで乾かししたりしないでください。
- ②次のような熱のこもる場所や高温になる場所で使用、保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所や、ストーブやヒーターなどの熱源のそば
 - ・ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、AV 機器などの上
 - ・屋外や夏の車内

- 指定以外の方法で充電しないでください。内蔵バッテリーの破裂や発熱の原因だけでなく、火災や機器の故障の原因にもなります。
- 雷が鳴りはじめたら、充電中の本品には触らないでください。落雷による感電の恐れがあります。
- 端子部に金属類を触れさせないでください。発熱や破裂、感電、ショートの原因になります。

- 分解や修理、改造は絶対にしないでください。火災や破裂、発熱の原因になります。
- 落としたり、踏みつけたり、過度に強い衝撃を与えたりしないでください。発火や発熱、破裂の原因になります。
- 液体や異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因になります。万一、液体や異物が入った場合は、すぐに使用を中止し、弊社に点検を依頼してください。

- 水中に投入したり濡れた手や油分などで汚れた手で使用しないでください。感電や故障の原因になります。
- 湿気やホコリ、油煙、タバコの煙が多い場所で使用・設置しないでください。感電や故障の原因になります。
- 端子部に異物やホコリが付いたまま使用しないでください。感電や故障、接触不良の原因になります。異物やホコリが付着している場合は、乾いた布で取り除いてください。

- 室温が10~35℃の場所で充電してください。この温度範囲外の場所では正しく充電できなかったり、通常より充電に時間がかかったりすることがあります。
- 十分に充電したバッテリーで使用時間が著しく短くなる場合、またはご利用いただけない場合はバッテリーの寿命となります。
- 長期間使わないときでも、機能を維持するため、3ヶ月に1度は満充電してください。